



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 橋詰 希望 ◆副会長 / 前田 博志
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆クラブ広報・情報委員長 / 新井 粒太



2018~2019 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1460 令和元年6月11日

◆点鐘	橋詰 希望 会長
◆SAA	加藤 輝男 委員長
◆ソング	奉仕の理想
◆ゲスト	池田 岳雄 様(テールドシエル)

【会長挨拶】 橋詰 希望 会長

最近スマートフォンの機能に注目しています。楽天ペイとかラインペイとかスマホでキャッシュレスの支払いが日本でも急速に発達してきました。ラーメンを食べてもスマホでポイントが着く時代です。小諸でも使える店舗が増えました。

東京に行くとスイカやパスモというカードでいちいち切符を買わずに電車やバスに乗れ、買い物もできます。私は移動の際に駅の料金表で行先までの金額を調べその都度切符を買っていました。最近息子が使っていたスイカをもらいそれを使って移動しています。いまはその機能がスマホでできるようになりました。

先日中国に行ったときに中国はもっとスマホを使ったサービスが進んでいると感じました。レストランでの注文はテーブルに貼ってあるQRコードをスマホでかざすとメニューが表示され、それをタッチして注文して、会計もそのままスマホで済ませる。つまりお店の店員さんは出来上がった料をそのテーブルに届け、かたづけるだけなのです。食い逃げの心配はないのかと思いましたが、スマホのデータが残るのでできないそうです。

GPS機能があるのでタクシーの配車依頼もスマホですると近くを走っているタクシーからあと何分で着くという返信が来てその時間にのれ、支払いもスマホをかざして一発で終了します。

その運転手の評価をお客がスマホで送ると、会社が運転手の評価をするので、運転手は安全な運転やサービスを心がけます。評価の高い人はより高級車をあてがわれ、給料も高くなる仕組みだそうです。その差は 10 倍ぐらいにもなるそうです。逆にお客もタクシー会社から評価され、お互い評価しあうということです。

ではスマホは使えない人はどうするかというと、ただ落ちこぼれていくだけです。日本では 99 パーセントの人のことを考えて物事が動いていきますが、人口が多い中国は 70 パーセントの人が便利に利用できればよいとされ、あとの人はただおいて行かれるだけということです。

私もできるかどうかわかりませんが、スマホで決済できるペイペイに挑戦してみようと思っています。

今日は小諸の大地主が退職後、財産をつぎ込んで夢に向かって、日々奮闘している池田岳雄さんに卓話をお願い致しました。楽しいお話が聞けると思います。よろしくお願いいたします。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. 週報

小諸、上田六文銭、上田西、東御RC

・来週 6 月 18 日(火)プログラム「飯綱山公園草刈り」です
草刈り機、鎌等ご持参下さい。

・例会終了後理事会

〈本日の配布物〉

週報 1458 号、ガバナー月信 6 月号、ロータリーの友 6 月号

◆出席報告 朝倉 俊次 委員

会員数 21名	出席義務者 21名	免除者 0名
本日	出席 16名	
	事前 MU 0名	76. 19%
前々回(5/21)	MU 0名	76. 19%

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 新井 粒太 委員長
ロータリーの友 6 月号紹介

◆ラッキー賞

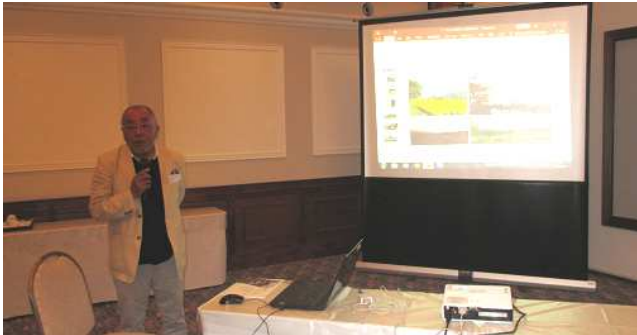
NO. 10 矢島 栄一 君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員

橋詰 希望君	池田岳雄さんお忙しい中、ありがとうございます。神社庁の表彰式に黒澤幹事出席していただき、感謝です。
前田 博志君	池田さん、ありがとう。
小池平一郎君	池田さん、ようこそ。息子同志が少年野球のピッチャーで投げ合ったことがありました。6月4日から歯と口の健康週間で、テレビやラジオで“健口長寿”をやっております。

青松 英和君	遅刻しました。申し訳ありません。
渡辺 頼雄君	池田つ社長さん、お話楽しみです。時々欠席ですみません。
小林 秋生君	来週6月18日は職業奉仕にて休みます。
矢島 栄一君	このところやたらとラッキー賞が当たります。宝くじでも買ってみようかな？

【本日のプログラム】 『6次産業化の魅力と今後の課題』 テールドシエル 池田 岳雄 様



- ・恵まれた自然、気候風土、それらを背景にした農作物、山の幸、四季折々の景観など、特徴的な独自の強みが数多くある。
- ・ブドウ栽培に適した自然条件を備え、ワイン用ブドウの生産量日本一を誇る、良質なブドウが持つ力を存分に引き出していくワインづくり。
- ・6次産業化 さまざまな産業への波及効果。
- ・地域力の創造 ワイン文化の拡大による地域の発展
- ・自然と調和した環境づくり
- ・小諸の特徴を背景にしたコンテンツの集約の創造が不可欠になる。
- ・全国からワインgrowerが集まってきているので、その養成と活用。
- ・1次産業 農家の醸成とやりがいの創造
- ・2次産業 ワイナリーなどのものづくり分野の拡大と発展
- ・3次産業 飲食や宿泊、サービス業のビジネスの発展、流通拡大
- ・ワイン文化の裾野拡大⇒地域の産業発展へ
- ・自然回帰によるやりがいの環境づくり
- ・郷土の誇りやアイデンティの醸成
- ・地域ぐるみの共同体制の構築

次週のプログラム： 6月18日 「飯綱山公園草刈り」奉仕プロジェクト委員会
 次々週のプログラム： 6月25日 「年度を顧みて」会長・副会長・幹事・各委員長